

報道関係各位

大豊・ソネック・田村特別共同企業体

酒造りの文化を育んだ宮水を守りながら、地域を水害から守る、
環境に配慮した防災・減災への取組

「二級河川 東川水系津門川地下貯留管他整備工事」 地下シールドトンネルを初公開。現場見学会 & 説明会を開催

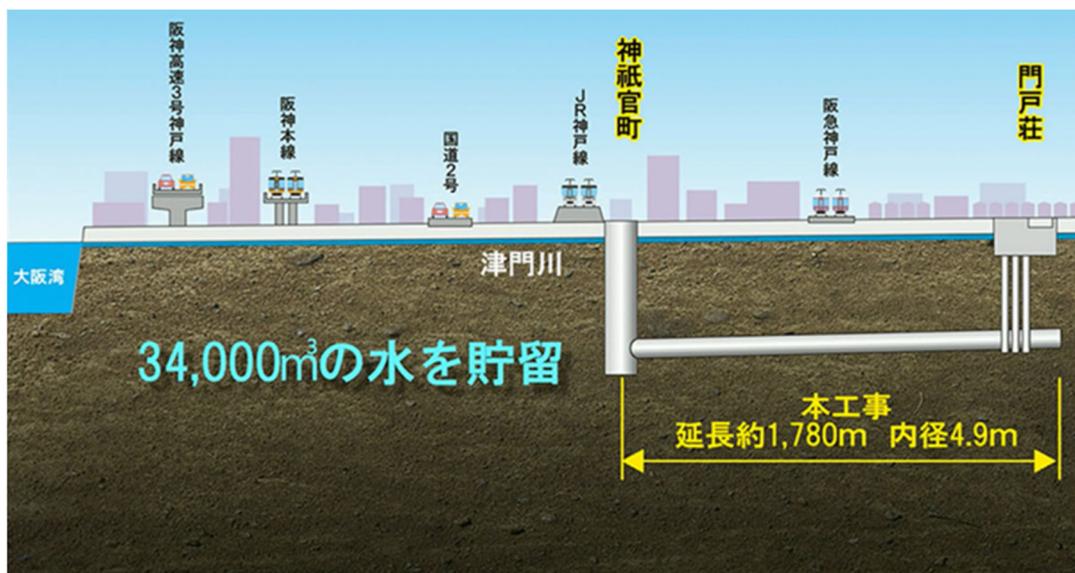
実施日時：5月20日（土）

説明会：12:00～12:35、見学会：12:35～

大豊・ソネック・田村特別共同企業体は、兵庫県西宮市中心部の浸水被害を防ぐため津門川の地下に整備が進められている「二級河川東川水系津門川地下貯留管」のシールドトンネルを初公開し、「現場見学会 & 説明会」を、2023年5月20日12時より、開催いたします。

説明会には、発注元である兵庫県阪神南県民センター長はじめ、西宮土木事務所長、宮水保存調査会副会長、大豊建設現場所長が登壇し、本事業および施工面での取り組みについてご紹介します。

津門川周辺地域は、1999年、2013年に集中豪雨による浸水被害があるなど水害対策が求められています。同時に、灘の酒造りを支えてきた貴重な地下水「宮水」が流れる地域でもあり、地下3mから6mの比較的浅い深さを流れる宮水への影響を最小限に抑える必要もあります。現場では、環境に配慮した防災・減災へ向けて、工事が進められています。



「地域の文化を守りながら、地域を守る」水害対策事業への理解を深めて頂きたく、この度、報道関係の皆様、地域住民の皆様向けに見学会と説明会の場を設けさせて頂きました。見学会では、豪雨の際一時的に水を貯める直径4.9メートルのシールドトンネルを初公開。工事現場内部を見学ご覧頂けます。

そのほか、兵庫県阪神南県民センター長 木村からの「ご挨拶」、西宮土木事務所長 田中による「事業説明」、宮水保存調査会 副会長兼調査委員会委員長 家村による「工事における宮水保全への取組」、大豊建設株式会社 広報担当の幡井による「大豊建設の得意技術とアンダーリバープロジェクトについて」、大豊建設現場所長の三野による「地域に歓迎される、環境に配慮した工事技術」についてご説明させて頂きます。

ぜひご取材頂きたく下記の通りご案内いたします。ご多忙の折とは存じますが、ご出席いただける場合には、下記 URL よりお申し込みください。

<https://forms.gle/tzbqC9MPkoLsfMEe6>

【開催概要】

■日時：2023年5月20日（土）

説明会 12:00～12:35 見学会 12:35～

■場所：津門川地下貯留管作業所 兵庫県西宮市神祇官町4-10

■プログラム：

①説明会 12:00～12:35

- 「ご挨拶」 兵庫県阪神南県民センター長 木村晶子

- 「事業概要」 西宮土木事務所長 田中修平

- 「工事における宮水保全への取組」 宮水保存調査会 副会長兼調査委員会委員長 農学博士 家村芳次

- 「大豊建設の得意技術とアンダーリバープロジェクトについて」 大豊建設株式会社 広報担当 幡井千穂

- 「地域に歓迎される、環境に配慮した工事技術」 大豊建設株式会社 所長 三野章生

②見学会 12:35 ～

- 地下41メートルにある貯水施設「シールドトンネル」内部の見学

※説明会が終了次第、見学会を実施いたします。

※当日は地域住民に向けた見学会（第一部 13:00～14:30 / 第二部 15:00～16:30）も開催予定です。13:00以降は住民の方も立坑口シールド内を見学されますので、あらかじめご了承ください。

本件に関するお問い合わせ

Story Design house 株式会社 担当：濱崎、春木

Email：pr@storydesign-h.com

携帯：070-3797-6505（濱崎）

